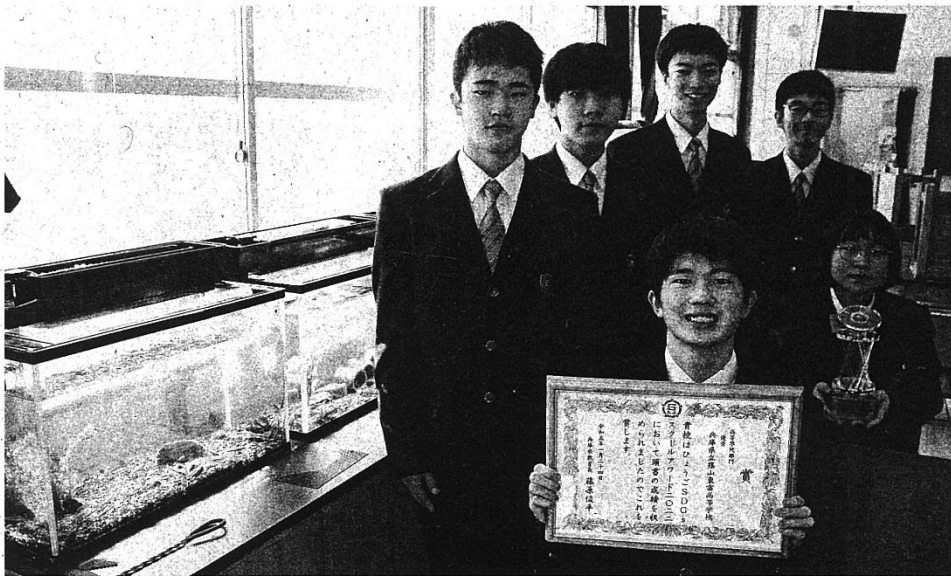


篠山東雲高に優秀賞

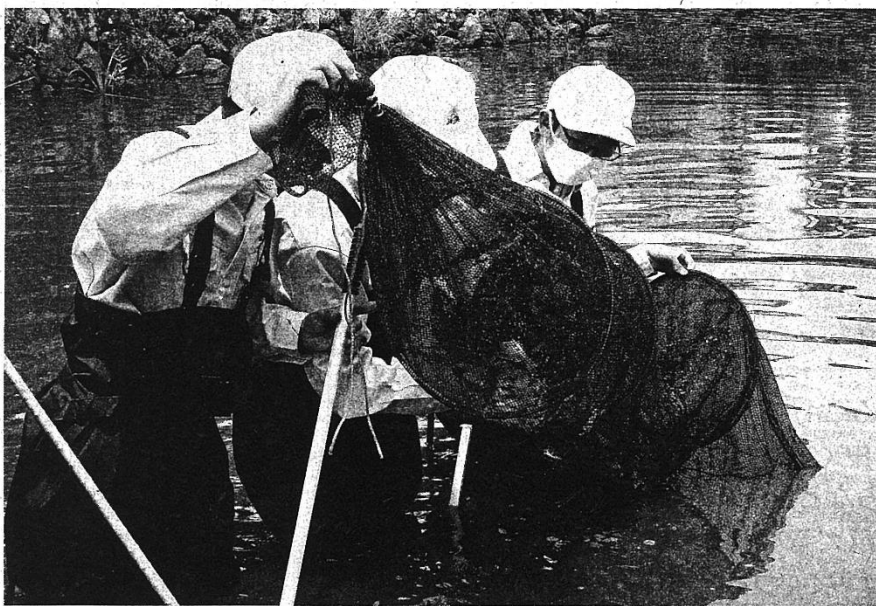
県「SDGSアワード」高校部門

県立篠山東雲高校（丹波篠山市）が、地元の篠山城跡の堀にすむ外来生物を駆除する部活動が評価され、先進的な環境保護活動をたたえる県教育委員会の「ひょうごSDGSスクールアワード」高校部門の優秀賞を受賞した。4年にわたる取り組みでウシガエルはほぼ姿を消すなど効果を上げているという。



「ひょうごSDGSスクールアワード」優秀賞を受賞した自然科学部の部員たち（丹波篠山市で）

篠山城跡堀の外来生物駆除



篠山城跡の堀で外来生物を捕獲する部員たち（丹波篠山市で）＝篠山東雲高校提供

部活動の自然科学部で、1、2年生の8人が所属。2019年から、東馬出堀に生息するウシガエルの駆除に取り組んでいる。胴長を着て泥が積もった堀に腰までつかり、定置網やワナなどを仕掛けた。

部活動の自然科学部で、1、2年生の8人が所属。2019年から、東馬出堀に生息するウシガエルの駆除に取り組んでいる。胴長を着て泥が積もった堀に腰までつかり、定置網やワナなどを仕掛けた。

成体とオタマジャクシのほか、外来のブルーギルやアメリカザリガニも大量に捕まえた。オタマジャクシ

駆除した生物の有効活用も模索。ウシガエルは唐揚げにして試食した。オタマジャクシやアメリカザリガニ

子どもたちに自然の大切さを伝える活動にも取り組む。校内の畑を、ピオトップと呼ばれる生態系を再現した観察用の湿原（約400平方メートル）に造りかえ、毎年夏休みに地域の小学生を招いた観察会を開いている。

「アワード」には、活動を紹介する約10分間の動画を作成して応募。1月に県庁そとの県公館で表彰式があり、部長の2年さん（17）がSDGSの17の目標を彩ったトロフィーを受け取った。さんは「先輩から引き継いできた活動が認められ、努力が報われた思い。これからも続け、日本の生態系を守りたい」と喜んだ。

2023年3月12日

読売新聞